



# 提 言 書



令和元年12月  
富里市まちづくり市民会議

## 目 次

提言にあたって . . . . .	1
富里市まちづくり市民会議委員名簿 . . . . .	2
富里市まちづくり市民会議設置要領 . . . . .	3
提言までの経緯 . . . . .	4
提言～10年後の富里市に向けて～ . . . . .	9
参考資料 . . . . .	23

## 提言にあたって

私たち14名は、富里市の新たな基本構想及び基本計画策定の一環として、富里の将来について市民の立場から意見交換や討議を行い、提言書として取りまとめ市長に提出することを目的に「富里市まちづくり市民会議」に参加しました。

この市民会議は、令和元年7月の第1回会議から12月までの約半年間で全6回の会議を開催し、富里のまちづくりについて私たちの夢や願いを込め議論を重ねてきました。

話し合いを進めるにあたっては、誰がどのような形でそれぞれの取り組みを担っていくべきか、市外のカヤお金を大いに取込むためにはどのようなことが必要か、人間が生まれてから最期を迎えるまでのライフステージごとに何が重要と感じているかを考えながら検討を進めてきた中で、世代や分野を越えた「つながり」が重要であることがわかりました。

色々な「つながり」を掛け合わせることで、大きな力を生み出し、これから更に厳しくなることが予想される財政難を乗り越えていかなければなりません。

この提言書は、市民目線の自由な発想が詰まっていますので、簡単にはいかないことも多々あるかもしれません。

しかし、これからの「まちづくり」を進める上で、この提言書が少しでも役立てば幸いに思います。

最後になりましたが、アドバイザーとしてわかりやすく明確な助言をいただきました千葉大学の関谷先生をはじめ関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

令和元年12月

富里市まちづくり市民会議 委員一同

## 富里市まちづくり市民会議委員名簿

(敬称略、五十音順)

No.	氏 名	備 考
1	石橋 千穂	
2	伊藤 裕通	座 長
3	小川 道雄	副座長
4	勝又 淳	
5	佐々木 浩二	
6	瀬尾 明良	
7	二上 正栄	
8	長谷川 みち子	
9	細田 明	
10	宮本 和子	
11	村井 香織	
12	柳田 貴将	
13	吉野 朋子	
14	若山 健太郎	

アドバイザー

千葉大学 大学院社会科学研究院 教授	関谷 昇
-----------------------	------

## 富里市まちづくり市民会議設置要領

### (設置)

第1条 富里市の新たな基本構想及び基本計画の策定にあたり，市民からのまちづくりに係る提言を受けることにより，市民と協働による計画づくりを推進するために，富里市まちづくり市民会議（以下「市民会議」という。）を設置する。

### (所掌事務)

第2条 市民会議は，富里市のまちづくりについて，市民の立場から意見交換，討議を行い，その結果を提言書としてまとめ，市長に提出する。

### (組織)

第3条 市民会議は，委員20人以内をもって組織する。

2 委員は，広報等により公募した者と市長が推薦した者とする。

3 委員は，富里市のまちづくりに関心のある18歳以上の富里市民又は富里市に通勤する者で，継続して参加できる者とする。

### (任期)

第4条 委員の任期は，第2条に規定する所掌事務が終了したときまでとする。

### (座長及び副座長)

第5条 市民会議に座長及び副座長を各1人置き，委員の互選によりこれを定める。

2 座長は，会務を総理し，市民会議を代表する。

3 座長は，市民会議を招集し，議長となる。

4 副座長は，座長を補佐し，座長に事故あるときは，又は座長が欠けたときは，その職務を代理する。

### (運営)

第6条 市民会議は，自主運営を基本とする。

2 市は，事務局として協力するほか，資料，情報等の提供を行い，必要に応じて担当職員，外部アドバイザーを派遣する。

### (事務局)

第7条 市民会議の事務局を総務部企画課に置く。

### (その他)

第8条 市民会議の会議状況及び提言内容は，広く市民に周知する。

2 この要領に定めるもののほか，市民会議の運営に関し必要な事項は，座長が別に定める。

## 附 則

この要領は，平成21年2月20日から施行する。

# 提言までの経緯～富里市まちづくり市民会議について～

## 1. 会議の趣旨

富里市はこれまで、成田空港にほど近い緑豊かで穏やかな土地柄のもと、発展を続けてきました。その歴史をふりかえると、特に成田空港開港が大きな転機となっており、開港後の大幅な人口流入から平成14年には富里町から富里市となっています。しかし、全国的な人口減少の流れにさらされ、現在、富里市においても人口は減少傾向となっています。

今回、新たな富里市総合計画を策定することから、これらの社会情勢や住民意識の変化に対応した計画策定を進めるため、市民が意見交換を行い、市民目線からの今後のまちづくりについて提言を行うこととしました。

## 2. 会議の概要

### 第1回 令和元年7月10日(水)開催

#### ○まちづくり市民会議の進め方について全体共有

本市民会議の趣旨や全6回の流れの説明を事務局より行い、アドバイザーの関谷教授(千葉大学)から今後の意見交換にあたっての留意点について講話いただきました。



#### ○座長・副座長の決定、班別役割分担(リーダー・書記)の決定

参加者を2つのグループに分け、全6回の市民会議の中での役割を決定しました。すべての参加者に役割があるように、分担を行いました。



## 第2回 令和元年7月31日(水)開催

### ○「富里市のいいところ」「ご近所の課題」「まちの課題」についての意見交換

まず、富里市にはどのような良さや課題があるのか、各グループで意見交換を行いました。

自然豊かな富里市ですが、人口減少や交通環境に関する課題など、様々な問題点があげられました。



### ○意見の取りまとめ、発表

各グループで意見をまとめ、富里市の現在の課題について発表、全体共有しました。



### 第3回 令和元年8月30日(金)開催

#### ○「今必要なこと(対策)」についての意見交換

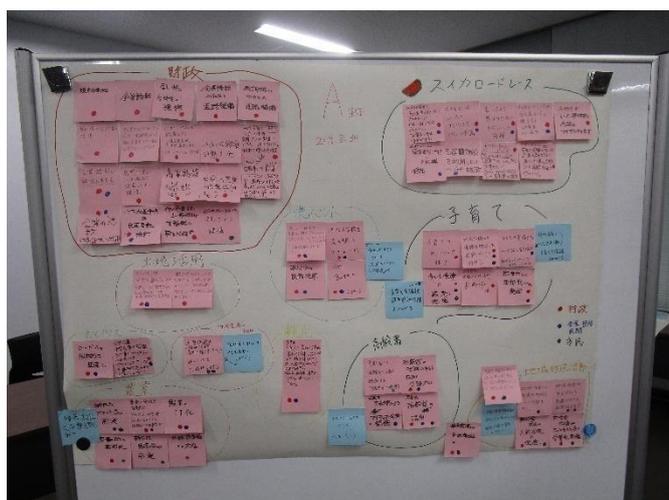
第2回の内容を受け、対策について意見交換を行いました。また、それは誰が(行政・市民・企業等)担うべきなのかも、意見交換を行いました。

企業誘致や農業振興、観光振興についての対策など、様々な対策や方向性があげられました。



#### ○意見の取りまとめ、発表

各グループで意見をまとめ、富里市の課題への対策について発表、全体共有しました。



## 第4回 令和元年 10月30日(水)開催

### ○「ライフステージごとの幸福」についての意見交換

「子ども」、「子育て世代」、「高齢者」など、幸福の形は市民全員が同じではありません。それぞれのライフステージにおける幸福について意見交換を行いました。



### ○「10年後に目指すべきまちの姿」についての意見交換

すべての意見を踏まえて、富里市がどのようなまちを目指すべきなのか、意見交換を行いました。



### ○意見の取りまとめ、発表

各グループで意見をまとめ、富里市の目指すべき姿などについて発表、全体共有しました。



### ○提言に向けてのアドバイス

関谷教授から、提言に向けて意識すべきことや考え方をアドバイスいただきました。



## 第5回 令和元年11月29日(金)開催

### ○提言書(案)の内容について協議

第2～4回目までの会議(ワークショップ)で、委員から出された意見を取りまとめて作成した提言書(案)の内容について協議しました。



座長を中心に意見交換し、「フレーズ」や「求められる取組み」について意見を交わしました。



### ○協議を通じての講評

関谷教授から、協議を通じての講評や、提言書をまとめる際の、持つべき視点についてアドバイスをいただきました。



第5回までの協議を経て、提言がまとまりました。



## 提言 ～10年後の富里市に向けて～



## まずは意識改革から理想のまちへ！



10年後の富里市に向けて

## 市民同士のつながりや地域愛から、 どんなときも支えあえる地域づくりへ

### 提言の趣旨

人口減少・少子高齢化という、地域の自治を揺るがす大きな課題に富里市は直面しつつあります。幸いにして現時点では大幅な人口減少状態にはありませんが、このまま推移すれば、地域の人口規模が縮小し、自治活動の継続が困難になる地域もでてくる恐れがあります。

また、問題は人口だけではなく、市民の意識にもあります。地域の維持を担う自治会の加入率が、今、減少傾向にあります。これは人口減少ではなく、自治会の意義についての一般的な意識の低下に起因していると考えられます。市民が、自治会や地域のつながりの意義について認識なくなると、もはやそれは「自治体」と呼ぶことはできません。

こうした問題に対して、市民の意識を変えていく必要があるのは間違いありませんが、協議の中では、現状の自治会のシステムのままでは難しいのではないかという意見もありました。

その一方で、本年千葉県を襲った大型の台風と大規模停電により、市民は隣近所で助け合う必要性をあらためて痛感することとなりました。痛ましい被害も多く出ましたが、「困っている人がいれば、目を向けて助ける」という、コミュニティの絆を深める第1歩となる意識を、多くの市民があらためて持つ機会になったといえます。

前例や既存のシステムにとらわれず、時代に合ったコミュニティをつくっていく必要があります。そのためには、行政ではなく、現場や当事者からはじまるまちづくりが求められており、今このまちに住んでいる私たちに合ったつながりや地域愛を育むことで、「どんなときも支えあえる地域づくり」を実現していく必要があるのです。

## 10年後に望むまちの姿

- ・地域の絆が繋がり、どこでもあいさつが聞こえるまち
- ・地域だけでなく企業や団体とも繋がり新たなコミュニティが賑わうまち
- ・「あなたが主役」でプロデュースできるまち
- ・「お互いさま」の精神が地域に根付いたまち
- ・多様性を認め合い、すべての世代が支えあえるネットワークが繋がるまち
- ・地域愛による「輪」を広げるため公民一体で頑張れるまち
- ・空港のポテンシャルを最大限に受け止め、世界に羽ばたけるまち
- ・どんな災害でも ONE TEAM で乗り越えられる強いまち
- ・有事の際にもライフラインが機能する強いまち



こうした10年後の富里市の姿を実現するためには、対応していくべき地域課題がいくつもあります。その解決に向け、5つの政策提言を行います。



## 10年後に向けた政策提言①

# 「空にのぞむ里」としてのにぎわいづくり

### 提言の趣旨

成田空港に近接した立地は、富里市にとって大きな強みです。



今後、人口減少時代にあつて、観光・産業振興や企業誘致は最も重要となるので、成田空港や空港関連企業との繋がりを更に掛け合わせて発展させていく必要があります。税金の確保だけでなく、市内にしごとがあることで、富里市に転入する人や関係する人の増加が期待できます。

富里市は、「空にのぞむ里」であることを十分に活かして、まちを活性化していくべきです。

観光振興に向けては、市街地の活性化と並行して取り組む必要があります。人が訪れてもお金を落とす場所がなければ、地域が潤うことはありません。

そのためには、ターゲットを明確化するなど、観光振興の方向性を確立することが重要です。たとえば、観光入込客を拡大するよりも、来てくれた人を確実にリピーターにするような、「関係人口の拡大」の視点も必要ではないかと考えられます。

中でも、スイカロードレースをさらに展開し、地域活性化につなげようという意見が多数ありました。スイカロードレースは、富里市の最も中心的なイベントですが、地域活性化につながりきっていないと感じている市民は多いと思われます。

富里市の地域資源は、決してスイカだけではありません。そうした資源を、富里市を訪れる年間10万人を超える観光客に対し、印象付ける取り組みを行い、地域活性化につなげる必要があります。

企業誘致に向けては、投資しやすい環境や道路整備など企業が来やすい環境をつくっていく必要があります。そのためには、企業に直接ヒアリングをするようなアプローチも求められます。



## 求められる取組

### 【観光に関連して】

- ・ターゲットを明確化した観光施策
- ・スイカロードレースの更なるブラッシュアップ
- ・長く滞在してもらうために宿泊施設の誘致や同伴者も楽しめるイベントの検討
- ・関連商品の開発及びブランド化
- ・市民ボランティアの積極的参加
- ・市内店舗と連携した体験イベントや産品活用レシピの企画開発
- ・目玉となる観光拠点を整備して集客による財源確保
- ・外に向けた情報発信の強化
- ・岩崎久彌検定の実施
- ・春先の砂ぼこりを活用したロケ誘致

### 【企業誘致に関連して】

- ・企業誘致のための道路整備
- ・民間企業が(工場等)投資しやすい環境整備(規制緩和も含む)
- ・企業等社宅を誘致
- ・資産価値の高い製品を扱う商業施設やIT 関連企業の誘致
- ・企業誘致に向けて、税制を含む優遇措置を検討
- ・企業のニーズをヒアリング



## 10年後に向けた政策提言②

# とみさと農業の持続的な展開と発展！

### 提言の趣旨

農業は富里市の基幹産業であり、まちの活性化の原動力となりうるものです。富里市は、スイカだけでなく新鮮な農産物が手に入るのが市民にとっての魅力であり、市外の人にとってもスイカロードレースの認知度が高いことから、農業が盛んな地域であると認識されていると考えられます。



そんな富里市の農業も、担い手不足や耕作放棄地の問題を抱えています。

富里市の農家数は減少傾向にあり、担い手の問題について考える必要があります。そのためには、市外の人をいかに取込むかという「関わりたくなる農業」の視点を持つことが重要です。成田空港の機能強化や、入管法の改正等により外国人労働力の増加が見込まれる中で、どうしたらそのような人材を取り込めるか早急に検討することが必要です。農家として農業に取り組んでもらうことも重要ですが、たとえば市民農園のような形で、農家に限らず様々な人に農地を利用してもらう視点も求められています。

また、新たな担い手の確保だけでなく、既存の農家が効率的・持続的に農業を続けられるよう、農業の集約化や、ITを導入したスマート農業の導入も今後必要です。

担い手を確保するためには、農業の魅力向上に取り組むことも重要です。民間企業や研究機関と連携しながら、新たなブランドにつながるような農産品の開発に取り組むことも求められます。

農業のみの展開にとどまらず、6次産業などの他業種連携にも取り組まなければなりません。特に、本市は観光と農業が連携したスイカロードレースがあり、観光につなげる展開に今後も取り組む必要があります。

本年は台風や大雨による甚大な農業被害にも見舞われました。災害は今後も必ず訪れるものであり、災害に強い農業についても考えていく必要があります。

## 求められる取組

### 【担い手・農地に関連して】

- ・誰でも楽しめる農園(市民農園)で、農業に興味のある市外の人を呼び込む
- ・新たな担い手確保に向けた取組み(専業農家以外の人も取込む視点)
- ・外国人労働者が就農しやすい取組み(言語対応の壁など)
- ・農業のIT化による効率化

現在国が、農業の担い手不足の対策のひとつとして検討しているスマート農業に関する取組み。ロボットトラクタやスマホで操作する水田の水管理システムなどにより、より大規模な農地利用が可能になる。

### ・農地の集約化

農地の利用権を交換することなどにより、農作業を連続的に支障なく行えるようにすること。耕作放棄地抑制に向けた対策として推進されている。

### 【新たな魅力づくりに関連して】

- ・新たな農産品開発に向けた研究と開発(行政・民間企業との連携)
- ・地域資源を活用した栽培実験施設をつくる
- ・農業大学の研究チームとの共同研究(施設の提供も含み検討)

### 【観光化に関連して】

- ・アグリツーリズムの普及、促進による関係人口の創出
- ・豊富な農産物を活用した野菜ソムリエの育成や、レシピ開発
- ・スイカロードレースによる農業の新たな展開を検討
- ・観光につながる農業の検討、農産品の活用
- ・農業振興拠点の整備(道の駅等)



## 10年後に向けた政策提言③

### すべての市民が支え合う、人に優しい地域ネットワークづくり

#### 提言の趣旨

核家族化や共働き世帯の増加により、悩みを抱えたまま子育てをしている世帯は増えていと考えられます。また、一人暮らしの高齢者も増加しており、あらゆる世代で支え合いの必要性が潜在していると考えられます。

すべての住民が孤立することなく、地域での生活を送るためには、「自分の声を聞いてもらえる環境」が身近にあることが重要です。

個人では解決しきれない悩みや不安も、地域で思いを伝え合えるネットワークがあれば、解決に向けて前進することもできます。



また本年は大きな災害もあり、支え合うことの重要さをあらためて痛感した市民も多かったのではないのでしょうか。これを、人に優しい地域ネットワークづくりを進める契機として、支え合いを市民に浸透させていくことが求められているのです。

地域で支援を必要とする人に対して、様々な支援者が情報共有を行って支援のできるネットワークづくりに取り組む必要があります。

現在は、メディアが発達しており、隣近所の生身の付き合いだけでなく、SNSを活用するなど、それぞれが多様なネットワークを構築しやすい状況があります。そうしたネットワークを大きな力にしていくためには、それぞれの多様性を認め合い、ネットワーク同士をつなげていく必要があります。

そうしたことで、日常的なささいな困りごとから地域社会の問題に至るまでを、行政・専門機関・地域で共有し、解決していけるまちになっていく必要があります。



## 求められる取組

### 【子どもに関連して】

- ・自然の中で安心して思いっきり遊べる場所の整備
- ・地域を巻き込み子どもが一人きりにならない環境を増やす
- ・子ども食堂の拡充 ・高齢者と小学生の交流サロン

### 【青少年に関連して】

- ・自治会や商店などに悩みを気軽に相談できる場所をつくる
- ・学校以外の友達と気軽に交流できる場所をつくる

### 【子育て世代に関連して】

- ・子育てにたずさわる人たちの交流の場を増やす
- ・近くに子育ての相談ができる場所やコミュニティ(ネットの掲示板等)を増やす
- ・子育て悩み相談室や相談会の開催と広く周知できる方法の検討
- ・近所で助けを求めることができるような関係づくり  
(おじいちゃん、おばあちゃんの知恵も利用して)

### 【高齢者に関連して】

- ・地域に役立てる、活躍できる場の提供(例:お役立ち登録制度等)
- ・高齢者に気さくに声をかけ、声をかけられるように
- ・地域ごとの高齢者ネットワークの構築とサロン等の開設

### 【すべての世代に関連して】

- ・各世代のネットワークをつなげることでお互いに頼れる存在になれる
- ・スポーツ等を通じて全ての世代が交流できる機会の充実
- ・現時点でも良い「取組み」や「活動」を行っているのに、それが全然知られていないので、行政はより効果的なPR や周知方法を検討する。



## 10 年後に向けた政策提言④

### 移動手段について総合的な検討を！

#### 提言の趣旨

鉄道のない富里市にとって、道路や公共交通については常に考えなければならない問題です。特に、高齢者の運転免許返納が推進されている中、市民の移動の問題はかつてよりも大きなものになっています。公共交通のあり方と道路利便の向上の両面から考えていく必要があります。

公共交通については、さとバス・デマンド交通や路線バスが、市民の足として欠かすことのできないものであることは間違いありませんが、その一方で、十分に利用されるような運行方法も考える必要があります。

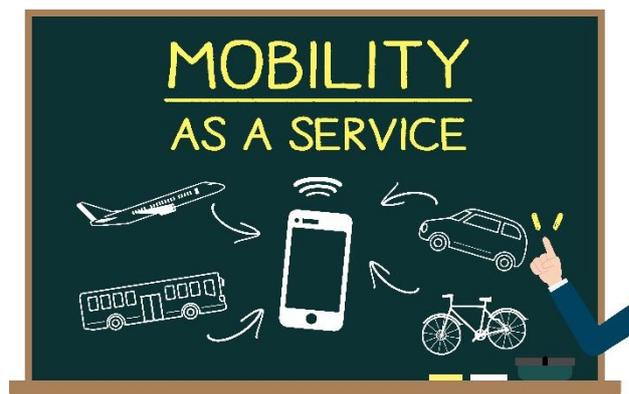
既存の交通手段に囚われることなく、未来的発想で斬新な交通システムについての検討や、富里市だけでなくより広域的なエリアで連携していくことも、今後の更なる財政難が見込まれる中では必要になってくる視点だと思います。

また、逆の発想でそもそも移動しなくても生活していけるコミュニティをつくっていくという取組みも1つの方法だと思います。

コンパクトシティの形成を誘導しながら、足りない部分を公共交通で補完していくことで、限りある財源の中で、新たな発展に結び付けることができるのではないのでしょうか。



道路の利便性についてですが、富里市には千葉県的主要渋滞箇所とされる道路があるのをはじめ、交通量の問題もあります。今後、成田空港の更なる機能強化等の影響により、交通量が更に増加する懸念があり、市だけではなく、国・県の考え方も踏まえてより広域的な道路整備を検討していく必要があります。



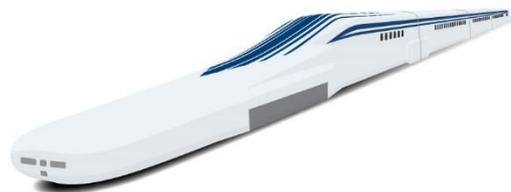
## 求められる取組

### 【公共交通に関連して】

- ・さとバスやデマンド交通のあり方について根本的な見直し
- ・IT活用によるデマンド交通の予約利便向上
- ・さとバスをワゴンタイプに変更し、利便性と経済性向上の検討
- ・南部の公共交通の課題解消
- ・用地買収が比較的少ないモノレール導入の検討
- ・高齢者に特化した公共施設や病院へのアクセス改善
- ・より広域的な枠組みで新たな交通システムの検討を進める
- ・病院への送迎事業の導入
- ・移動スーパー等による団地巡回訪問事業の検討
- ・自治会単位で生活に最低限必要な物資の調達が可能となる店舗の誘導

### 【道路整備に関連して】

- ・交通量の多いところから道路整備をおこなっていく
- ・空港への直結アクセス手段の検討
- ・通学路の整備(大型車が通ると、子どもが危険な箇所が多い)
- ・道路の雨水対策(台風等で冠水する箇所は決まっている)
- ・冠水マップを作成して周知を図る
- ・交通マナーやモラルの啓発に力を入れる(痛ましい事件や事故を無くすため)
- ・道路や歩道に伸びている枝木を地域で処理できるようにする



## 10年後に向けた政策提言⑤

### 今ある地域資源を活かして、新たなチャレンジを！

#### 提言の趣旨

持続可能な地域づくりのためには、今ある地域資源を有効に活用しながら、新たなチャレンジをしていく必要があります。

今ある地域資源の中で、特に遊休状態になっている公共施設や、地域の空き家・空き地・空き店舗など、有効に活用しなければ建物の荒廃が進むなど地域に悪影響が起こりうるものについて、積極的に検討をする必要があります。

協議の中では、平成29年4月に、富里南小学校へ統合された旧洗心小学校施設の活用について多数の意見があがりました。この施設は、南部エリアの貴重な地域資源であり、成田空港からほど近い立地で県道にも面していることから、民間活用も可能な市全体の宝です。積極的に活用の検討を進めるべき地域資源と考えられます。

また、空き家は全国的な問題となっており、富里市においても同様の問題です。このことについては、地域活性化のための施設として活用する意見が中心でした。国においても法整備が検討されている状況ですが、住宅としての運用や危険家屋としての対応よりも、地域貢献できるような活用をしていくことが望まれます。

今ある地域資源の中で、展開すべきものとして、旧岩崎家末廣別邸が挙げられます。国の登録有形文化財であり、価値の高い資源であることから、新たなアイデアを盛り込みながら観光・文化振興につなげていく必要があります。



建造物だけでなく、富里市の自然や農業など、これまで地域で連綿と受け継がれてきたものは、すべて得がたい地域資源です。継承してだけでなく、新たな視点での有効活用が求められます。

## 求められる取組

### 【旧洗心小学校に関連して】

- ・民間企業に貸出し(条件付きでコンペによる選定)
- ・民間企業の運動会施設として、施設丸ごと貸出し
- ・地域密着の小規模な「水族館」や「動物園」
- ・道の駅として地元製品の販売や交流拠点として整備
- ・芸術家やコワーキングスペースとして貸出し
- ・大学の農学部のサブ研究施設として貸出し

### 【空き家に関連して】

- ・空き家を借り上げ、民泊施設として活用
- ・空き店舗を活用して、起業したい市民に直売所やカフェを開いてもらう
- ・空き家や空き店舗を活用し、ワークショップや販売のスペースとして活用してもらう
- ・空き家を活用し、ふれあいサロンをつくる
- ・空き家や空き店舗を活用し、市民のミニ美術館として整備

### 【旧岩崎家末廣別邸に関連して】

- ・富里観光の拠点として整備する
- ・岩崎家ゆかりの地としての展開を推進する
- ・岩崎久彌検定を行いより身近な存在へ

### 【自然・農業に関連して】

- ・里山ツーリズムの整備とツアーガイドの育成
- ・農家体験・収穫体験プログラムの開発に向けたプロジェクトチームの立ち上げ
- ・農家体験・収穫体験コーディネーターの育成





さまざまな世代の幸せについても考えました！



こども



家族がいつも笑顔で、一緒に遊べる場所があるのが幸せ！  
自然の中で友達と泥だらけになって遊ぶことが幸せ！  
学校では色々な言葉や文化について学ぶことも大事！

青少年



家族以外に悩みを相談できる場所、ありのままの自分でいられる場所があること！  
何事にも、何回でもチャレンジできる環境があること！  
勉強以外に打ち込めることがあること！

すべての世代



みんなが共存できる安全安心な社会であること！  
交通網がもう少し便利であれば！  
自慢できるような特産品のあるまちであること！

高齢者



やっぱり健康第一！  
地域に貢献できる、誰かの役に立っていること！  
買物や通院の移動の心配がないこと！  
地域の子どもたちとふれあう機会があること！

子育て世代



家族がいつも笑顔で、パパが家事を共有してくれること！  
悩み相談や交流の場があり、ママ友がいること！  
子育て支援が充実していること！



## 参考資料(まちづくり市民会議全意見)



## 第2回富里市まちづくり市民会議全意見

開催日：令和元年7月31日(水)

### A 班

元の記述はすべて記載していますが、分類の都合上、一部補記しています。  
また、同趣旨のご意見が複数あったものについては、太字表記としています。

#### ☆富里市のいいところ

##### →**ハート(心)、人**

人間味のある町 人が温かい

ボランティアあかり(高齢者のお昼ごはん)の提供(日吉倉コミセン第3金曜日に実施している)

あかりや日吉倉でのサロン等ボランティア活動が多い ボランティア団体が多い 見守りボラが多い

市民が協力的である 地域福祉計画策定されている

子育ての環境が良くなってきた

日吉台は犬の糞等きちんとしている人が多い

外国人が多い

##### →**インフラ**

ぎりぎり通勤圏かな 東京までのバスがある 首都圏

郵便局や銀行が歩いて行かれる

ジョイフル本田がある

合併しないで村から町そして市となった

宿泊ホテルがある

大型スーパー(ヤオコー、イオンタウン、ベイシア等)多いので生活がしやすい

サニーパークハイツ付近の交通量が多いのでガードレールがついている

幼稚園、小学校、中学校が近い

日吉台は成田駅に近い

全国で3位以内(正月の参拝者)の寺が近くにある

東京動物学校がある

旧財閥がいた

高速インターがある

近くに国際空港がある

##### →**自然豊か**

豊かな自然環境(同意見3) 自然がたくさんあるのでのどか 蛍の里がある

乗馬クラブが多くある 馬の関係が多い

公園が多い(緑の自然)

サニーパークハイツ前の中央公園の緑が季節ごとに美しい花を咲かせている(白梅、ピンクの梅、桜、椿、秋の紅葉)

##### →**食**

スイカが名産(同意見2) 新鮮な野菜が無人で売っている(近所で2ヶ所) 新鮮な野菜が手に入る 農

作物がおいしい 農作業のアドバイスをもらえる

##### →**災害が少ない**

自然災害が少ない 災害が少ない

→その他

全国レベルのスポーツ大会がある

さまざまな職業(産業)がある

★富里市の課題

→財政

財政がきびしい(同意見4)

医療施設が少ない 医療費の増大 子どもの医療の負担増

下水道が未整備 上下水道の老朽化

公共建物の老朽化

スイカロードで市にお金を落として欲しいね

もっと収入を考えた方が良い

小中学校のエアコン設置

祭りが無くなるのが悲しい

→人

若い世代の人口が増えていない(同意見3)

一人暮らしの高齢者が増えてきている 老齢化になってきている

不登校の子供がいる

人口減少の問題

外国人労働者との共存

→道路

道路が狭い(同意見2) 通学路が未整備 交通の問題

日吉台からジョイフルに行く途中の道路に自転車道又は歩道をつくって欲しい

信号が少ない

→インフラ

公共交通のインフラ(南側) バスが少ない

超高齢化社会(に対応したインフラ整備)

→地域資源の活用

洗心小学校の有効活用

企業誘致

農作物のブランド化

→土地

土地の利活用

旧岩崎家の末庵別邸の有効活用

→組織

市と団体が一緒になって(協力してできないか?)

★ご近所の課題

→高齢化

隣人との交流がない(不在) 一人暮らしのお年寄りの孤独死 一人住まいの高齢者が増えてきた

空き家になっているところが増えてきている　空き家がある

高齢者夫婦が増えてきた。以前に比べると若い人が少ない。

高齢者の買い物難民

大きな物の処分にかかる

所有者不明の土地が増加

高齢者のゴミ出し問題

行事の減少

→**インフラ**

免許証の返納　病院の通院手段

公園がきたない(トイレもない)　公園のトイレが汚れていることが多い

土地の放置

道路に草がのびている

→**農業**

ご近所のトラブル

砂ぼこり

農作業におけるニオイ

農道の通り抜け

→**自治会**

困りごとの支援体制(自分のところはまだよいのか?)

自治会役員のメンバーが変わらない(受け手の問題)

## B 班

### ☆富里市のいいところ

#### →自然環境

安心安全で新鮮な野菜を食べられる(同意見3) 農業がさかん スイカ、にんじん

自然が多い。季節によって畑の作物を知ることが出来る

のどか。ごみごみしてない。(同意見2)

人々の素朴さ(特に子ども)。何か行事があると団結できる点。都会にない農業のまち。特産物が多い。

#### →災害が少ない

災害の少ない土地地域 地震に強そう(海なし、川少ない)

#### →生活環境

ゴミ袋代が安い!

スーパーが多くなり買い物にこまらなくなった

#### →観光

観光客が宿泊する

### ★富里市の課題

#### →にぎわい

観光資源が少ない又は活かせてない(同意見2) 歴史的な観光できる場所が少ない

人が常時集まる場所が少ない。(同意見2)

スイカロードレースだけでなく何か富里の自慢できるものがほしい(同意見2)

楽しく食事やコーヒーを飲むだんらんの出来る場所がない 南部方面に飲食店が少ない

スイカの味のPRだけでなく、スイカが有名だということをPRすれば?

イベントがない

行政企画しているものに参加者が少ない

#### →道路

道が狭い(同意見2) 通学路が危ない(同意見2) 自転車専用道路の未整備

歩道の未整備 暗い道が多くて危ない 立沢団地~高野工業団地トラック通行禁止している

交通面が不便(同意見2) 路線バスの減少(駅へのアクセス) 電車ない(交通が全体的に弱い)

雨水対策

#### →公共交通

高野から両国にかけて大型車がよく車線はみ出て通っているのが危険(通学路かぶってない)

七栄こみすぎ

高齢者が市役所までのアクセスが悪い 高齢者家族の対応

#### →子ども・子育て支援

子育ての応援 子どもの医療費等値上げ(予防接種補助等)

公立学校の冷房等の導入

#### →その他

畑を太陽光パネルだけでつぶすのはどうか? 日陰でもよい植物とか植え付けたら?

太陽光発電が増えすぎなのでは

空き家が多くなった      空き地が多くなった気がする

春先の砂ぼこり

税収が少ない

### ★ご近所の課題

#### →人とのつながり

近所のつながりが無い。(同意見2)      ご近所さんに興味がない

自治会、区、に入らない。やめてしまう人が多い。      自治会の在り方が昔と変わってきている

団地内でみんな集まるのは夏祭りくらいで少ない

若い世代や子供が少ない

高齢者に対し防災等で情報を知りたいが個人情報で制限される。人口が少ない。

観光客と地元住民との接点がないような…

海外の人と一生に地域で生活するには

#### →上下水道

上下水道が整備されていない

浄化槽の維持管理が難しい。公園の除草等の作業で年寄りが多く心細い

#### →その他

捨て猫が多い

自転車マナー、新聞配達マナーの悪さ

ごみを捨てられることが多い

# 第3回富里市まちづくり市民会議全意見

開催日：令和元年8月30日(金)

## A 班

それぞれの対策には、推進主体として以下のマークを付しています。

民 市民ができること  企 企業・団体・その他民間でできること  行 行政（市）ができること

また「 企・ 行」など、複数のマークを付しているものは、官民等の協働推進が不可欠なものになります。

### ★財政に関する対策

#### 【企業誘致等】

- ・企業誘致 行
- ・企業誘致して税収をあげる 企・ 行
- ・工業団地の活用により企業誘致 企・ 行
- ・企業誘致のための道路整備 行
- ・規制緩和 行
- ・民間企業が（工場等）投資しやすい環境 行
- ・塩害や水害は少ないので、電機 or IT 関連企業やサーバー施設を誘致してはどうか？ 行
- ・成田空港へのアクセス道路整備 行
- ・住宅の充実（企業等社宅） 行
- ・商業施設の誘致 行

#### 【効率的運営】

- ・上下水道事業の民間委託検討 企・ 行

#### 【財源確保】

- ・ふるさと納税の魅力化 行
- ・他市町村へ出向いてのマルシェ開催 民
- ・パチンコ屋さんの調査をする。（固定資産、償却資産の申告）スロットマシンを増やす。 行
- ・たとえば自転車にもナンバープレート付けさせて（500 円）で、義務づけすることで、事故も無くなり無責任な行動が減らせる。収入になる。 行
- ・国・県の交付金獲得 行
- ・国・県の交付金活用 行

#### 【事例調査】

- ・他の市町村のよい事例は積極的に取り入れる 行

### ★農業に関する対策

#### 【担い手】

- ・農家の後継ぎ問題は、リタイアしている方々に手伝ってもらえる仕組みが出来ないか？ 企・ 行
- ・外国人労働者との共存 行

#### 【スマート農業】

- ・農業の IT 化 企・ 行

#### 【農地】

- ・農地の集約化 民・ 行

#### 【付加価値の向上】

- ・新たな農産品の開発 民
  - ・新たなブランド品の開発 民・ 企
- ⇒種苗会社と連携して新品種を開発。

## ★スイカロードレースをはじめとしたイベントに関する対策

### 【スイカロードレースの運営】

- ・スイカロードレース時にお土産セットを販売する。お弁当等、または宿泊。[企・行]
- ・スイカロードレース参加申し込み方法のアイデアを出す[企]

### 【イベントの充実】

- ・スイカロードレースとコラボするイベント企画[企・行] ・若い人が集まりやすいイベントの開催[企・行]
- ・イベント学生ボランティアの応援依頼[企] ・既存施設を利用したイベントの誘致[企]
- ・イベントが少ないことについて ①スイカロードレースは毎年 T シャツ（帽子も）のデザインを変えないで、ボランティアの分はスタッフ用として毎年使う。②市内の店舗に何か企画を考えてもらい、帰りに立ち寄ってもらうことを富里市全体でやっていく。[企]
- ・ふるさと祭りも商工会青年部だけに任せないで市も一緒になってやっていく。協賛金をもっと呼びかける。[企・行]

## ★旧洗心小学校に関する対策

### 【民間活用】

- ・洗心小（旧）を使い、若者の人材を呼び込む。芸術家や、コワーキングスペース（PC を使った仕事場）に各教室を貸し出してはどうか？[企・行]
- ・洗心小の民間活用[企・行]

### 【道の駅】

- ・洗心小学校を道の駅にできないか[企・行] ・洗心小を道の駅に[企・行]
- ⇒行政がプロジェクトをつくって民間を呼びこむ。市民参加型の取組ができるとうい。

## ★子育てに関する対策

### 【ネットワーク、支援体制】

- ・子育てのネットワーク作り[行] ・地区社協との連携を強化した組織づくりを行う[民・企・行]
  - ・若い世代の相談窓口の充実[民・行]
  - ・子どもの居場所について話し合う場を社協が中心で実践してみる[企・行]
- ⇒「市社協と地区社協」に子育て支援課が呼びかける

### 【子ども食堂】

- ・子ども食堂の拡充と充実[民・企・行]
- ⇒子育て支援課、保育園が（市、民間へ）呼び掛ける

### 【子どもの遊び場】

- ・子どもたちの水遊びできる場所、噴水とか[行]

### 【学校の冷房】

- ・公立校の冷房、実際大人が教室にいと 5 分ももたない。[行]

## ★高齢者支援に関する対策

- ・高齢者が活躍できる場を提供する（民生委員との連携）[民]
  - ・高齢者に活躍してもらうための仕組み作り[企・行] ・元気な高齢者の活用[民・企・行]
  - ・元気な高齢者によるアイデア会議の開催[企（団体）]
- ⇒シルバー人材センター、ハローワーク

### ★地域住民活動に関する対策

#### 【交流】

- ・地域住民との交流を行う。じっくりと話を聞く。民 ・自治会同士の人的交流の促進民・行

#### 【地域活動】

- ・歩道や車道まで伸びてしまった木の枝や草を、ゴミ拾い運動のように片付けてはどうか民・行

#### 【意識づくり】

- ・地域住民が中心だという意識が持てる場づくりをする民・企（団体）

- ・自治会役員になってもらうための学習会の開催民・行

⇒市民活動推進課が区長会に働きかける。住民会議は委託してもいい。

### ★土地活用に関する対策

- ・中央公園の広い土地を活用して、船橋アンデルセン公園のようにする。飲食店も整備する。企・行

- ・旧岩崎家の広い土地を有効活用（宿にする等）したい。が、有形文化財文化財なのでどこまで許されるかわからない。企

### ★さとバスに関する対策

- ・さとバスの根本的な見直し企・行

- ・千葉交通が成田駅まで乗り入れないのであれば、ヤオコーまでさとバスを走らせてみてはどうか？企・行

### ★社会資源の活用に関する対策

- ・医療施設、福祉施設と、市内の団体で協力。誰がいても良い場所を作る。民・企

⇒徳洲会の展開事業などを参考にする。

### ★観光に関する対策

- ・外国人に来てもらうために、富里のスポットをピックアップして観光課などが海外の旅行会社のツアーにお勧めする。日本に来る旅行客に事前にツアーに申し込んでもらう。企・行

### ★市民参画に関する対策

- ・事業計画への市民参画民・行

## B 班

それぞれの対策には、推進主体として以下のマークを付しています。

民 市民ができること  企 企業・団体・その他民間でできること  行 行政（市）ができること

また「 企・ 行」など、複数のマークを付しているものは、官民等の協働推進が不可欠なものになります。

### ★観光に関する対策

#### 【方向性の検討】

・観光資源について、とにかく資源化、方向性を決める。 民・ 行

#### 【農産品の活用】

・野菜の利用方法。富里の郷土料理を体験してみる。 民

・ロードレース以外の自慢、ニンジン祭り、落花生祭り、サツマイモ祭り何でもいから祭り 民

・富里物産展も同時開催（祭り） 企  行 ・市有地に「道の駅」を作り地域産業振興の拠点とする 企・ 行

#### 【スポーツ等のイベント】

・スイカロードレースコースの走行会開催。例：有名ランナーをゲストに 企・ 行 ・運動会を復活する 民・ 行

・イベントがない イベントできそうな場所をつくる。何かしらイベントをやる（とにかく考える前にやる、やらかす）→空き地対策になる？ 民

#### 【既存施設の活用】

・図書館にも広報的な役割をもらう 民・ 行

・洗心小の活用 企・ 行

#### 【岩崎家の活用】

・岩崎久彌検定の開催 民

・岩崎家の歴史的産物を観光資源にする（充実させる） 企・ 行

#### 【担い手（ボランティア）】

・ボランティアを広く募集する 民・ 行

#### 【砂ぼこりの活用】

・春先の砂ぼこり→やちぼこりではなく「とみぼこり」であることを SNS 等で広める 民

・春の砂ぼこり 西部劇的な映像撮れるよ！とメディアに PR  民

### ★行政に関する対策

#### 【協働のための組織】

・公民連携室のような組織を作り、公民協力の基礎とする（役所に縦割りでなく、横断的な横割りの組織を作る） 行

#### 【財源確保】

・税収少ない→ゴミ袋代値上げ（ゴミ減少） 行

#### 【行政手続】

・高齢者が市役所までのアクセスが悪い→市役所（課）が訪問する 行

#### 【職員の育児休業】

・男性育児休業、富里市職員の取得を義務化し、広報で育児にやさしい街をアピール 行

### ★道路に関する対策

#### 【道路整備】

・歩道の整備 通学路、道路に面した雑木など 民・ 行 ・各地域の人が歩道の整備をする 行

・道路整備 交通量の多いところから 行

### 【車両・運転者への注意喚起】

- ・道路が狭い 通行区分の厳格化、通学路・生活道路の大型車通行禁止を厳正に行
- ・通学路狭い道 路面に速度・通学路などを書いては？行
- ・公道でのマナー・モラルの見直し。車・バイク・歩行者すべて民

### ★公共交通に関する対策

- ・路線バスの増便、民間企業の参入行
- ・近隣の交通網にない乗り物の導入、バスの時刻表の見直し行

### ★空き家に関する対策

- ・空き家の活用（古民家カフェ等）企 ・空き家を一括借り上げ→民泊化（民営？公営？）企・行
- ・空き家を活用し、道の駅を作る。直売所 3 号店をつくる。トラック市、フリマを定期的にする。企
- ・廃校になった学校で何かやる（水族館、動物園）企

### ★その他

- ・飲食店の誘致と援助企・行
- ・外国人との交流の場を設ける民
- ・自治会・区はもっとしっかり考えていかないと防災につながらない。学校を中心としてみては？民・行

# 第4回富里市まちづくり市民会議全意見

開催日：令和元年 10 月 30 日(水)

## A 班

### ★10年後の富里市（目指す姿）

#### 【コミュニティ・協働】

- ・公・民が協力して難題を解決する街
- ・市民が参加できる町づくり
- ・行政が主動した自治会の作成
- ・継続する市民活動

#### 【防災】

- ・冠水マップの作成（10年後は大変な災害になっているので）
- ・災害に強い街づくり
- ・災害に強い

#### 【観光】

- ・観光とみり
- ・観光名所名物があるまち
- ・映画の街とみり

#### 【移住・定住】

- ・首都圏からの移住者の受け入れ
- ・若者が出ない街
- ・若者が戻ってくる街

#### 【交通環境】

- ・どこでも廻れるバスほしい
- ・空港へのアクセス道路開通
- ・モノレールが欲しい

#### 【産業】

- ・コストコなど商業施設で税収UP
- ・休耕地の有効活用による商業施設の誘致

#### 【高齢者福祉】

- ・高齢者同士気軽に参加できるサロン等を多く作る

#### 【農業】

- ・耕作放棄地の対策強化で農地の集約化

#### 【国際化】

- ・国際化に向けて対応できる力をつけるまちづくり

#### 【土地利用】

- ・行政が主動とした区画整理

#### 【その他】

- ・イメージ ブータンのような街
- ・チャレンジする気持ちを忘れないまち

## ★ライフステージごとの幸福

### 【子ども】

- ・学校が楽しいと思えること
- ・友達と仲良く遊べる場所
- ・家族がいつも笑顔なこと
- ・公園や室内で自由に遊べる場所
- ・子ども 遊びの場（外・内）
- ・子ども 教育（日本語・英語）
- ・安心して外で遊べる
- ・親とあそべる
- ・兄弟が多い
- ・安全に安心して遊べる場所
- ・学校外での英語（他言語）交流、学びの場
- ・仲間との空間

### 【青少年】

- ・悩み等気軽に相談できる場所
- ・仲間がいること
- ・仲間達と言い合える
- ・インターネットリテラシーを広く知ってもらう
- ・大切にしている仲間がいること
- ・何度でもチャレンジできる環境がある
- ・いじめのないこと
- ・熱中するものがあること
- ・可愛い彼女ができること
- ・自分の気持ちを分かってもらえる友

### 【子育て世代】

- ・悩みを共有できる友がいる
- ・安定した収入
- ・子育て支援の充実
- ・災害時に子どもを守る安全な場所があること
- ・パパたちが家事を共有してくれること
- ・自分たちの意見が通ること
- ・過ごしやすい街。ママたちの交流の場があること
- ・健康な子供
- ・働く職場の選択肢が多くある

### 【高齢者】

- ・健康に暮らす
- ・健康なこと、交流があること
- ・地域で仲良く
- ・役に立てている生活
- ・安心してもらえる年金
- ・バスなどで買い物に出られること
- ・家族にやさしくされること
- ・食事が美味しくできること
- ・趣味を共有できる

### 【すべての世代】

- ・高齢者と子供が交流しあえる場所を作る
- 安心安全な地域社会
- ・すべての世代が共在する社会
- ・安心して住めること
- ・生活に役立つ知識
- ・気軽に外出できる（交通網など）
- ・空いた時間に交流できる場所づくり
- ・不便な交通網の手段解消
- ・充実した生活
- ・戦争のない国
- ・農産物（名物になるような）加工品の開発・売り出し（スイカやニンジンを使った）それ以外でもOK

## B 班

### ★10年後の富里市（目指す姿）

#### 【コミュニティ・協働】

- ・誰でもあいさつができる町
- ・気軽に皆が声をかけていこう
- ・助け合える町になっている
- ・昔のたとえ 向こう三軒両道隣りはお互い大切にしていけたら安心かも。
- ・すべての世代の人が協力し合える
- ・近所の人とふれあいをもち協力できる

#### 【農業】

- ・住宅地の中の美しい農園が生活にうるおいを
- ・農民の高齢化による農地の活用
- ・家族で楽しめる農園
- ・農業に興味を持つ都会人の野菜作り

#### 【防災】

- ・災害にびくともしない防災のまち
- ・災害の対応に強くなっている

#### 【自然環境】

- ・現在より緑が多い市
- ・町と自然が調和し安心して暮らせる

#### 【交通環境】

- ・道路が拡張され整備されている

#### 【産業】

- ・人と企業が集まる町

#### 【観光】

- ・誰でも気軽に参加できる参加したいと思える行事の開催

#### 【財政】

- ・財政が豊かになっている

#### 【健康増進】

- ・誰もが健康で元気な町

#### 【教育】

- ・子どもたちの教育が豊かになっている

#### 【防犯】

- ・犯罪がない

#### 【その他】

- ・住みやすい市になっている
- ・笑顔あふれる町
- ・安全で健康に暮らせる・防災・防犯・医療の充実他
- ・歴史とスイカの町

## ★ライフステージごとの幸福

### 【子ども】

- ・自然の中で自由に遊べる
- ・隣近所に気軽に声をかけたら
- ・子ども会があったら
- ・親子一緒に楽しめる行事
- ・子どもの個性を大事にしよう
- ・泥だらけで遊べる場所
- ・栄養バランスの取れた食生活
- ・外で元気に遊べる
- ・通学路が安全になっていること
- ・地域で子どもを育てよう、見守ろう

### 【青少年】

- ・いじめのない学校になっている
- ・中学生と一緒に防災について話をしたい
- ・地区ごとの行事 たとえば母子ミックスでソフトボールとか
- ・気軽に交流できる場所
- ・勉強以外に打ち込めることがある
- ・近所の人が見守ってくれる
- ・子どもには体験型農業を経験

### 【子育て世代】

- ・運動会等家族で汗と感動を
- ・近くに子育ての相談ができる場所がある
- ・出産と育児 国や県そして市などが補助
- ・安心して子供を外で遊ばせられる
- ・ワークライフバランスがとれている
- ・助けを求めることができるような関係づくり おばあちゃんの知恵も利用して

### 【高齢者】

- ・高齢者に運動を推進し運動できる場所を提供する
- ・趣味を共有できる仲間がいる
- ・気軽に集まれる場所がある
- ・声かけあって集まれる場所がある
- ・高齢者に気さくに声をかけ、声をかけられるように
- ・高齢者は支えあいもっと多くの人と話しよう
- ・病院、買い物に困らない

### 【すべての世代】

- ・地域を知る、地域の人に知ってもらう
- ・誰とでもあいさつできる町
- ・健康に生きられる
- ・防災無線放送がよく聞こえないので屋内でも聞こえる設備が必要
- ・共有と協働でまちづくりを
- ・人材発掘と人材育成がまちづくりの基となる
- ・人材こそ地域資源
- ・防災時の連絡網をしっかり作りたい
- ・役所が停電しても自前で電力を生む設備が必要
- ・悩みを相談できる人がいる

## 第5回富里市まちづくり市民会議意見(概要)

開催日:令和元年 11 月 29 日(金)

### 10 年後の富里市に向けて

#### ★フレーズについて

- ・市民と市民のつながりで、どんなときも支えあえる地域づくり
- ・地域の絆を育てる場といった趣旨の、インパクトのある言葉はないか
- ・地域の絆を育てる場づくりは、まずあいさつから      ・地域愛による公民一体のまちづくり
- ・困っている人には目を向けて助けてあげよう
- ・あらためてひととひとのつながりが重要となっており、市民の意識改革が必要で、その大事さを表現したい。市民の意識改革ができれば、自治会問題は解消できる。
- ・自治会や自治体は、現状のシステムのままでは無理があるのではないか。あまり「自治会」と強く書くのは違和感がある。今年の災害が助け合いについて考えるいいきっかけになった側面はある。

#### ★求められる取組み

- ・「あなたが主役」のまちづくり      ・お互いさまの地域づくり
- ・あなたの経験や知識を登録する市民登録制度
- ・赤ちゃんからお年寄りまで、すべての世代が支えあえる地域づくり

### 10 年後のに向けた政策提言①

#### ★フレーズについて

- ・空港と O N E T E A M でにぎわいづくり      ・空港と一緒に歩む
  - ・「そらののぞむまち」とする（かぎかっこをつける）      ・「空にのぞむ里」でもよいのでは
  - ・「緑」もフレーズとしてよい
- ⇒「空にのぞむ里」に過半数の賛成があった

#### ★求められる取組み

- ・スイカロードレースのブラッシュアップ      ・農協女性部や地区保健推進委員の協力による地域グルメの開発
- ・企業誘致に向けて、税制を含む優遇制度を検討      ・企業のニーズを聴き取る
- ・「全体的な観光振興の方向性の検討」の「全体的な」はいらないのではないか
- ・関係人口については、たとえば観光振興よりもリピーターに確実に来てもらうというような、ターゲットを絞る考え方も必要ではないか
- ・スイカロードレースは、走るのではなく、ゆっくりと歩いて楽しめるようなアプローチもあるのではないか
- ・スイカロードレースの開催にあたり、見物者も楽しめる手法を検討

## 10年後のに向けた政策提言②

### ★フレーズについて

- ・「とみさとらしい農業」ではなく「とみさと農業」としてはどうか
  - ・とみさと農業のブランド化の展開      ・持続的な農業の展開と発展
- ⇒「とみさと農業の持続的な展開と発展」に過半数の賛成があった

### ★求められる取組み

- ・リタイアした人や外国人に限定せず、専業農家以外も担い手とする取組みのほうがよいのではないか
- ・新たな担い手に向けた取組み
- ・新しい野菜の栽培実験施設をつくる      ・施設の提供も含む、農業大学の研究チームと共同研究
- ・誰でも楽しめる農園
- ・市民農園の対象は、都会の人に限定しなくていい。市民農園等、農家以外の人を楽しめる取組み

### 【事務局提案】

- ・新たな農産品の観点の中に「研究」や「民間との連携」といった言葉を盛り込む
- ・求められる取組みの中に「観光に関連して」を新設      ・農産物を観光に活用する観点を加える

## 10年後のに向けた政策提言③

### ★フレーズについて

- ・住民ひとりひとりが見守り助けあう地域ネットワークのP R
- ・すべての住民が支えあう、人に優しい地域ネットワークづくり

### ★求められる取組み

- ・「ママたちの交流の場」という表現については、「子育てに携わる人たちの交流の場」としたほうがいい
- ・ママ友カフェや子ども食堂の拡充      ・高齢者と小学生の交流サロン
- ・子育て悩み相談室や相談会の開催      ・小学校区単位の高齢者による高齢者のための高齢者ネットワークの構築
- ・地域ごとの高齢者サロンの開設
- ・「すべての世代に関連して」を新設      ・共生的な考え方があるといい
- ・「すべての世代に関連して」ネットワークをつなげる、P R等の周知方法を検討

## 10年後のに向けた政策提言④

### ★フレーズについて

- ・市民の移動手段を多角的な視点で考える
- ・市民の移動に限定せず、交通手段や移動手段の検討としてはどうか

### 【事務局提案】

- ・「市民」はフレーズからは除外。趣旨として市民の移動利便を検討するのはいいが、フレーズにいれるものではないとあらためて考えた

### ★求められる取組み

- ・「路線バスの増便」は削除でいい
- ・IT活用によるさとバスの予約利便性向上
- ・さとバスをワゴンタイプに変更し、利便性と経済性向上の検討

## 10年後のに向けた政策提言⑤

### ★フレーズについて

- ・今ある資源と新しく創り出す資源の融合で、新しいステージへ
- ・地域資源を生かして、新たな挑戦へ
- ・遊休〇〇の活用。フレーズは、活用するものを限定してもよいのでは。遊休施設や有休店舗など
- ・地域資源を生かして、さらなるとみさとへ
- ・チャレンジという言葉を入れてもらいたい

### ★求められる取組み

- ・自然体験、農業体験も追加してもらいたい
- ・洗心小を市全体の宝と考える
- ・洗心小を、条件付きコンペにより民間企業に貸出す
- ・洗心小を、民間企業の運動会施設として、施設丸ごと貸出し
- ・洗心小を、大学の農学部のサブ研究施設として貸出しを検討
- ・空き店舗を活用して、起業したい市民に直売所やカフェを開いてもらう
- ・空き家や空き店舗を活用し、ワークショップや販売のスペースとして活用してもらう
- ・空き家を活用し、ふれあいサロンをつくる
- ・空き家や空き店舗を活用し、市民のミニ美術館として整備
- ・里山ツーリズムの整備とツアーガイドの育成
- ・農家体験・収穫体験プログラムの開発に向けたプロジェクトチームの立ち上げ
- ・農家体験・収穫体験コーディネーターの育成

### 【事務局提案】

- ・地域資源という言葉は広義なので、岩崎家別邸も含めたい

## さまざまな世代の幸せ

- ・子どもの幸せは、「親子一緒に遊べる」だけでなく「みんな一緒に遊べる」ほうがいいのではないか
- ・「みんな」ではなく「家族」がよい

### 【事務局提案】

- ・「親子」を除外

- ・高齢者の幸せは、「子どもたちとふれあう機会がある」こと
- ・青少年の幸せに、「失敗しても」という文言は必要ないのでは。「何事にも何回でもチャレンジできる環境があること」としてはどうか

### 【事務局提案】

- ・みんなが輪でつながるような図に変更したい